[九州電力送配電株式会社管内における予想潮流等]

発電機を連系するにあたり、熱容量面で制約が発生する地域は以下のとおりです。空容量が少ない系統であっても、系統混雑時の出力制御を条件とした「ノンファーム型接続」によって系統増強を行わずに連系が可能となります。

o 九州電力送配電株式会社の電力系統を [ ] で分割しており、分割したエリアのうち熱容量面で制約が発生する地域を ● で図示しております。また、分割したエリア内の番号をクリックすると当該エリアの詳細な系統図及び「空き容量一覧表」を確認することができます。詳細な系統図では、色分けにより系統の状況を表示しています。

青：平常時出力制御＊1が発生する可能性のある系統

平常時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。

＊ https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html

赤：配電用変電所の空き容量が無い系統、電源接続案件一括検討プロセスを実施中の系統、増強工事中の系統

黒：平常時出力制御が発生する可能性が当面低い系統

＊1 系統容量の制約による出力制御

o 電源接続案件一括検討を実施中のエリアを ● で図示しております。各エリアの実施状況については、以下のＵＲＬを参照下さい。

＊ https://www.kyuden.co.jp/td_service_wheeling_diprocess.html

〔留意事項〕

※「空き容量一覧表」は、熱容量を考慮した空き容量等を記載しております。その他の要因（短絡容量や電圧変動等）で、連系制約が発生する場合があります。

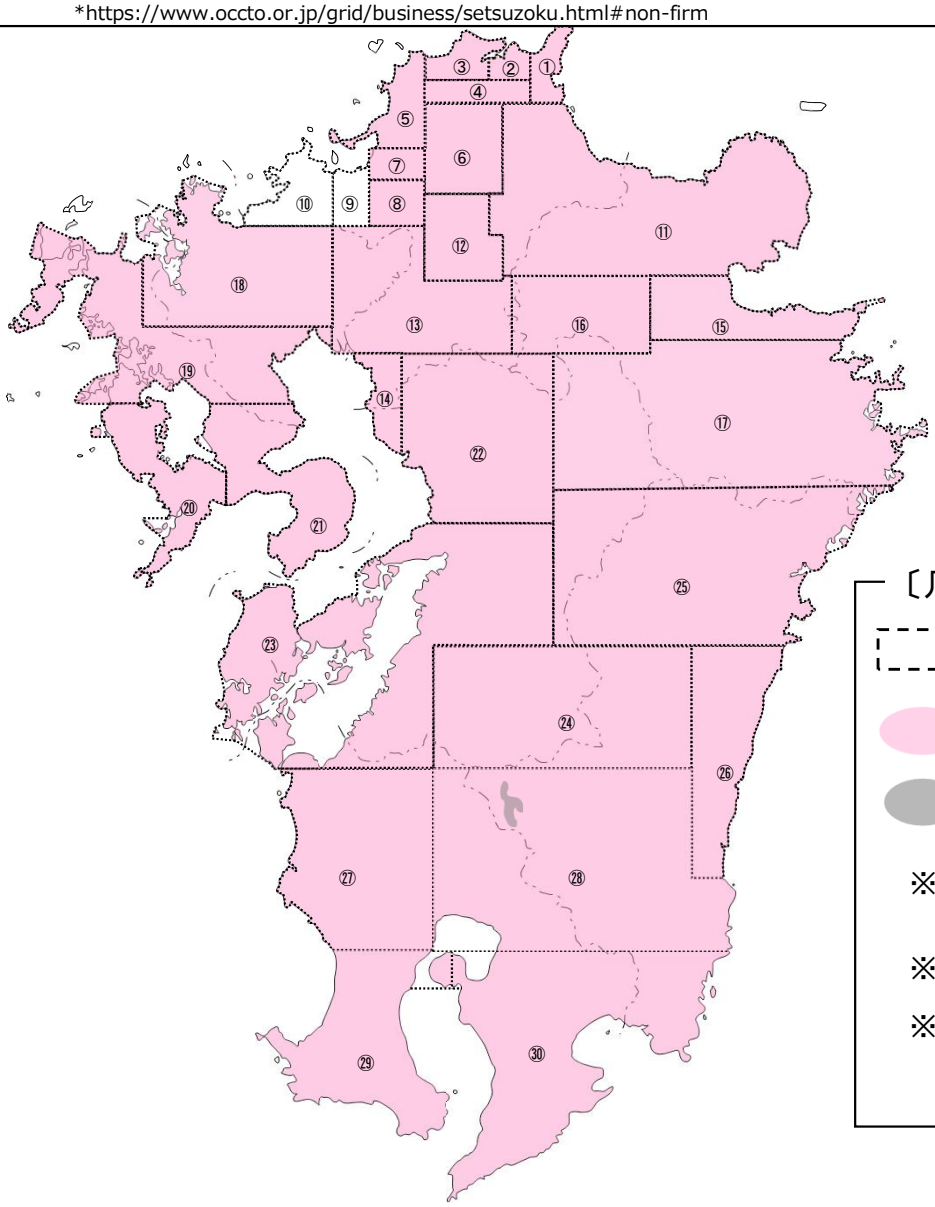
※また、熱容量を考慮した空き容量等は、系統毎に電源の並入状況等によって変動します。今回、お知らせする空き容量等は、電源の並入状況を一定の条件で算定したものです。詳細については、別途、接続検討の申し込みによる詳細検討（有料）が必要となります。

※社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。

※電力広域的運営推進機関が公表した「想定潮流の合理化」を制約マップに反映しております。既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。

※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム接続～」でも、新規電源　連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。

*https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm



〔凡例〕

[ ] 電力系統分割エリア

● 容量面で制約が発生している地域

● 電源接続案件一括検討プロセスを実施中のエリア

※ 数字をクリックすることで各地域の系統を表示します。

※ 離島についてはこちらをクリック

※ 空き容量が無く平常時出力制御が発生する可能性のあるエリアについてはこちらをクリック

転載禁止　九州電力送配電株式会社